

デボーション質問 民数記 4－9 章

民数記 4 : 1－49 4月2日 (月)

1. レビ族の奉仕運搬実務にあたる者は 30-50 才です。一般的にこの年齢は人生の中でどんな時期にあたりますか？若い人なら、将来この時期に神のために何をしますか？年輩の方ならこの時期以降をどう過ごしますか？考えてみましょう。
2. アロンとその子ら以外で聖所の器具に最も近づき、取り扱うのがケハテ族です。それには細心の注意が必要でした。アロン達の指示を聞き逃した場合は死ぬからです。私達に器具はありませんが、神との関係で何を大切にしていますか？自分の言葉で言い表してみましょう。

民数記 5 : 1－10 4月3日 (火)

1. らい病、けが人、死人を扱った者はキャンプの外に出されました。なぜでしょうか？考えてみましょう。
2. 罪の責任の取り方の例が書かれています。何をしますか？私達は罪を告白し、神の前に赦されますが、被害を与えた当事者に対する責任は果たしているでしょうか？

民数記 5 : 11－31 4月4日 (水)

1. 夫が妻に対して不倫したのではないかと疑った場合の裁き方、ねたみを持った時について書かれています。
a. 彼らは、神様に裁いていただくために祭司のもとへ行きました。何をしましたか？ (15～24節)
b. 疑いをもったままで関係を続けるより、神様の裁きに身をゆだね、すっきりした関係を保っていたようです。あなたの関係はどうですか？神様の裁きにゆだねるべき、疑いやねたみはないですか？
2. 幕屋のちりをまぜたのろいの水は、どのような効果があると語っていますか？ (23～28節) このことから神様の性質がどのような方であると思いますか？ (そのような水が人の体型と体質を変えるほどの効果があると思いますか？) 私は、神様の裁きに任せる寛大な心をもっているだろうか？神様のような哀れみの心をもっているだろうか？ (ヨハネ 8 : 1～11 参照)

民数記 6 : 1－27 4月5日 (木)

1. 1～21節は「ナジル人」の規定です。サムソンやサムエル、バプテスマのヨハネのように生涯ナジル人として生きる者ではなく、ある期間聖別する者の規定で、この期間でも日常の社会的義務は果たしていました。彼らは大祭司並に徹底して聖別した生き方をし、自ら積極的に聖別しました。使徒の働きでは、「清めの期間」と記されています。どのような特徴的なことをしますか？ (3～10節)
わたしは、定期的に自分を見つめ直しているだろうか？うわついた生活、ぜいたくなものにあきっている生活、自分が神様に生かされていることを忘れた生活、実りがない死んだ生活をしていないだろうか？
2. 24～26節は祭司の祝祷です。祝福と守り、恵みと平安があるように。神様がみ顔を照らしてくださるようにと、家族、周りを祝福しましょう。

民数記 7 : 1 - 89 4月6日 (金)

話はさかのぼり、出エジプト40章／レビ記の出来事の詳細が記され、重複する部分もありますが、より詳細な幕屋完成後の出発時の記録です。

12日間をかけ各部族の族長が盛大に捧げものをしました。出エジプト記40章も参考にしながら、民と神様と親密に語り合える関係が始まったことが、どれほどダイナミックなものであったか想像してみましょう。

天の父と親密な関係を持てるようになったイエス様の十字架と葬りと復活は、7章の出来事よりも壮麗であることを実感し感謝しているだろうか。

民数記 8 : 1 - 26 4月7日 (土)

レビ記の規定に忠実に従って行なったことが、記録されています。彼らはまず何をしましたか(1~4節)? その次に何をしましたか? アロン(大祭司)は何をしましたか(21節)? 万民祭司時代の私たちはレビ人です。王の王であり大祭司であるイエス様は私たちに何をしてくださいましたか?

私の人生が神様の御言と聖霊によって照らされているだろうか? 4節で著者が燭台の素晴らしさを描写したように、み言葉と聖霊の偉大さを思い起しているだろうか? 私は、忠実に神様のみ言葉を生活に適應しているだろうか?

民数記 9 : 1 - 23 4月8日 (日)

歴史上、初めの過越祭が記載され、彼らの旅の様子が描かれています。

1. モーセはどのように、問題を処理していますか(8節)?
2. 彼らの旅の心得はどのようなものですか(15~23節)
彼らから学ぶべき点はなにだろう? 今日できる適應は何だろう?